

大牟田市立田隈中学校

1 本校のESDの特徴

人類の平和や多様性の尊重等を、遠い未来までその営みを続けていくための学習をする。学年ごとに福祉教育（1年）、職場体験・国際平和学習（2年）、進路学習・保育実習（3年）を核にすえ、体験活動を積み重ねていく。これらの課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくこと（think globally, act locally）を身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動をする。グループ学習や個人研究などの多様な学習形態から発表や討論までの流れを作り、地域の人々の協力も得つつ全教師が共通理解のもと一体となって指導にあたる。そのために、あらゆる方面から情報を収集したり、GTを依頼したりと、生徒が興味や関心をもって取り組むことができ、課題解決に向けて意欲がわくような学習プログラムを設定していく。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

平成27年度		持続可能な開発的教育（ESD）年間指導計画（ESDカリガ-）										大牟田市立田隈中学校	
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
第一学年	総合	総合及び持続発展教育についてのガイダンス		命の大切さ 持続発展可能な社会作りの担い手に向けた学習		大牟田子ども検定		福祉学習 ～認知症について～ 持続発展可能な社会作りの担い手に向けた学習			職業調べ 持続発展可能な社会作りの担い手に向けた学習		
	教科 道徳	○身近な生物の観察【理科】 2-(2)「旗」	○世界各地の人々の生活と環境【社会】	○植物の仲間分け【理科】 3-(1)田隈中独自教材「猿渡さん」		4-(10)平和学習	4-(9)郷土資料「四郎園光」	○世界から見た日本の自然環境【社会】	○アジア民族の音楽【音楽】	○火山【理科】	○地震【理科】	○世界の諸民族の音楽【音楽】	○世界の諸民族の音楽【音楽】
第二学年	総合	総合及び持続発展教育についてのガイダンス		職場体験学習 体験活動 → 地域の良さについて考える		仲間作り		広域方面での修学旅行 原爆ドームや平和記念館等についての調べ学習 外国の方と交流する中で未来へ続く平和について考える					
	教科 道徳	○世界から見た日本の資源・社会と産業【社会】	○世界と日本の結びつき【社会】 2-(2)田隈中独自教材「猿渡さん」	3-(1)「かけがえないもの」 3-(2)「輝かしい最後」		4-(10)平和学習	2-(2)「軽い優しさ」		2-(2)「最後の年 緑しそば」	○身近な環境の気象【理科】	4-(9)「国」	3-(1)「命の重さ」	○日本の気象【理科】
第三学年	総合	総合及び持続発展教育についてのガイダンス		自分の将来について考える 持続発展可能な社会作りの担い手に向けた学習		進路学習 持続発展可能な社会作りの担い手に向けた学習		福祉学習（保育実習を通して） 持続発展可能な社会作りの担い手に向けた学習			3年間のまとめ 持続発展可能な社会作りの担い手に向けた学習		
	教科 道徳		○平和と民主化への動き【社会】	○国際化する世界と日本【社会】			○人権と共生社会【社会】	○生物どうしのつり合い【理科】			2-(2)「月明かりで見送った夜汽車」		○国際社会と世界平和【社会】

3 特徴的な活動事例

<広島への修学旅行 《国際平和学習》>

（事前）【戦争や原爆の悲惨さ、平和や命の尊さ・大切さを学び、これから未来に生きる自分たちが国際社会の中で何ができるのかを考える。】

- ・千羽鶴作り
- ・広島に行くにあたって、これから自分にできることを考える。
- ・ユネスコがんばろい会の方から、国際社会における平和のあり方の話を聞く。
- ・身近な人の戦争体験を聴き、レポートを作成し、代表が発表する。

- ・自分たちの思いをまとめ、平和宣言文を作り、国際連合に届ける。
- ・外国の方と交流し、平和に対する話を聞くことによって、これから先、国際社会はどのように平和貢献ができるか考える。
- ・広島についてのDVDを見る。

(当日)【広島原爆資料館を見学し、館の方の話を聞き、具体的な原爆や被害に遭われた方の状況を知る。】

- ・原爆資料館で見たことや聞いたことをメモしたり、写真を撮ったりする。

(事後)【事前学習や当日の広島での体験学習をまとめ、発表する。】

- ・班ごとに学習してきた平和についてのレポートを作成する。
- ・まとめの発表会をする。

平和宣言

広島へ修学旅行に行く事前学習で、平和について学んだり調べ学習をしたりしました。そこで、田原中学校の2年生で平和への思いを宣言文にして「平和宣言」として、国際連合に送る取り組みを行いました。各学級で知恵を出し合いました。そして、修学旅行の学習委員会で話し合い、次のような宣言をすることになりました。

国際連合・潘基文事務総長様

【未来ある子どもたちが安心して安全に暮らせる世界のために、人びとが武器を捨て、核兵器0になる平和な世界を願います】

【私たちは、戦争がなく、人びとが苦しまない平和な世界を求めます】

【私たちは、いつまでも、世界が仲良く、子どもたちが安心して生活できることを求めます。】

【私たちは、未来が明るい世界にするため、国と国との結びつきを、一層強くすることを望みます】

福岡県大牟田市立田原中学校 2年生一同



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・広島での平和学習が、戦争の悲惨さを学ぶにとどまらずこれから先、未来に生きる生徒たちが、国際的にどのように諸外国の人と協力していけば平和な人類社会になっていくかを学ぶことができた。
- ・外国の人から見た日本のすばらしさを知ることができ、日本人としての誇りをもち、もっと我が国の文化を知りたいという態度を養うことができた。
- ・生徒の感想に「国際貢献のあり方の一歩が見えてきました。国際的に活躍できるような勉強をし、できれば留学などもしたいと思うようになりました。」という前向きな意見がみられた。

○課題

- ・今後、ESDの視点に立った国際平和学習を他校と交流していく。